

第27回一般社団法人日本顎関節学会総会・ 学術大会を開催するにあたって



第27回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会
大会長 古谷野 潔

第27回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

今回の総会・学術大会では、最近の国内外における顎関節症およびTMD（Temporomandibular Disorders）関連領域の変化を受けて、メインテーマを「世界の潮流から考える顎関節症治療の将来展望」とし、メインシンポジウムでは、「世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類，診断基準の変革がもたらすもの」と題して、メインテーマに沿った情報提供と今後の方向性について議論していただきます。

シンポジウム1では、「顎関節症の病因としてのブラキシズムの役割を探る」と題して、睡眠時ブラキシズムおよび覚醒時ブラキシズムは果たして顎関節症の病因であるか？という観点でエビデンスを整理し、科学的な見地から検討していただきます。

また、現在顎関節症に対する保存的治療の軸と考えられる理学療法と薬物療法に注目し、明日からの臨床に供すべく実際の臨床現場における現状について情報提供を行っていただきます。シンポジウム2では、「顎関節症に対する理学療法の実践」と題して、本邦でもますます関心が高まっている理学療法について、各演者の立場から臨床現場における情報を提供していただき、その現状と問題点について議論していただきます。シンポジウム3では、「顎関節症の痛みに対する薬物療法の実践と展望」と題して、関節痛および慢性筋痛への薬物療法について、および一般臨床医が行う薬物療法とその問題点について議論していただきます。教育講演では、「顎関節の臨床局所解剖」と題して、診断、治療に必須の解剖学的知識について臨床的な見地から解説していただきます。また、イブニングセミナーについては、「一般臨床医が治す顎関節症一問診・診察・検査・鑑別診断・治療」と題して、一般臨床医の立場から顎関節症臨床を解説していただきます。ハンズオンセミナーでは、第25回大会時のセミナーの続編として、「顎関節腔穿刺法および関節腔洗浄療法の実践と応用」を行っていただきます。学会賞学術奨励賞受賞講演としては、「ウサギ大脳皮質咀嚼野電気刺激により誘発された咀嚼様運動時の作業側顎関節における下顎頭と関節円板の協調運動」について報告していただきます。その他、企業展示に加えてランチョンセミナーも企画いたしました。この場をかりまして、ご協賛いただいた企業様に厚く御礼申し上げます。

ここ福岡の地では、大会期間中は博多祇園山笠が終わり夏本番を迎えております。猛暑が予想されますので、このところ慣例となっているクールビズでお越しくください。

最後になりますが、本大会がご参加の皆様にとって実りある有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、開催の挨拶とさせていただきます。

会議日程

日時：平成 26 年 7 月 18 日（金）

平成 26 年度第 1 回常任理事会	9：15～ 9：45
平成 26 年度第 1 回理事会（現理事）	10：00～12：00
平成 26 年度第 1 回社員総会（現代議員）	12：30～14：30
平成 26 年度第 2 回理事会	14：45～15：15
平成 26 年度第 3 回理事会	15：20～15：35
平成 26 年度第 2 回社員総会（次期）	15：40～16：00
第 6 回指導医研修会	（受付 16：10～16：20） 16：20～17：20

会場：九州大学医学部百年講堂

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

日程表

7月19日(土)

	A会場 大ホール	B会場 中ホール1・2	C会場 中ホール3, 交流ホール・ロビー	企業展示 交流ホール・ロビー
9:00				
	9:15~9:30 開会式		9:00~10:00 ポスター貼付	
10:00	9:30~11:00 シンポジウム1 【顎関節症の病因としてのブラキシズムの役割を探る】 講師：大久保昌和 山口泰彦 藤澤政紀 座長：窪木拓男	9:30~11:30 一般口演 【骨折；炎症】 0-1~0-4 【滑膜炎；腫瘍・腫瘍性病変】 0-5~0-7 【代謝性疾患；筋炎；咀嚼筋腱・腱膜過形成症】 0-8~0-11		
11:00	11:10~11:40 【ウサギ大脳皮質咀嚼野電気刺激により誘発された咀嚼様運動時の作業側顎関節における下顎頭と関節円板の協調運動】 講師：丸尾尚伸 座長：佐藤博信	平成25年度学会賞 学術奨励賞受賞講演	10:00~13:00 ポスター展示	
12:00	11:50~12:50 ランチョンセミナー 1 講師：五十嵐千浪 座長：小林 馨 協賛：朝日レントゲン工業株式会社	11:50~12:50 ランチョンセミナー 2 講師：水口 一 協賛：株式会社モリタ		
13:00		質疑応答(奇数演題)	13:00~13:30 【基礎研究】 P-1~P-11 【臨床研究】 P-12~P-51 【症例報告・臨床研究】 P-52~P-69 【International session(国際セッション)】 P-70~P-76	9:00~17:00 企業展示
14:00	13:40~15:50 メインシンポジウム 【世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類、診断基準の変革がもたらすもの】 講師：矢谷博文 有馬太郎 柴山能大 井川雅子 宮地英雄 座長：古谷野潔	13:40~15:40 一般口演 【顎関節脱臼】 0-12~0-15 【ジストニア；遠隔医療システム開発】 0-16~0-18 【慢性疼痛；背景因子；鑑別診断】 0-19~0-22		
15:00			13:30~18:00 ポスター展示	
16:00	16:00~18:00 イブニングセミナー 【一般臨床医が治す顎関節症 —問診・診察・検査・鑑別診断・治療—】 講師：甲斐貞子 高野直久 野澤健司 門脇 繁 塚原宏泰 座長：田口 望 和気裕之			
17:00				
18:00				

7月20日(日)

	A会場 大ホール	B会場 中ホール1・2	C会場 中ホール3, 交流ホール・ロビー	企業展示 交流ホール・ロビー
9:00	9:00~9:30 総会・学会賞表彰式			
10:00	9:30~10:00 専門医制度説明会			
11:00	10:10~11:40 シンポジウム2 【顎関節症に対する理学療法の実際】 講師：和嶋浩一 原 節宏 小木信美 西山 暁 島田 淳 座長：和嶋浩一	10:10~11:35 一般口演 【MRI：顎関節, 咀嚼筋】 0-23~0-26 【ブラキシズム：スプリント療法】 0-27~0-30	9:00~13:00 ポスター展示	
12:00	11:50~12:50 ランチョンセミナー 3 講師：林 和則 協賛：株式会社ジーシー	11:50~12:50 ランチョンセミナー 4 講師：坂本英治 座長：中村誠司 協賛：ヤンセンファーマ株式会社		9:00~15:00 企業展示
13:00		質疑応答(偶数演題)	13:00~13:30 【基礎研究】 P-1~P-11 【臨床研究】 P-12~P-51 【症例報告・臨床研究】 P-52~P-69 【International session (国際セッション)】 P-70~P-76	
14:00	13:40~14:30 教育講演 【顎関節の臨床局所解剖】 講師：近藤壽郎 座長：小林 馨	13:30~13:50 ハンズオンセミナー受付	13:30~14:30 ポスター展示	
15:00	14:40~16:10 シンポジウム3 【顎関節症の痛みに対する薬物療法の 実際と展望】 講師：澁谷智明 儀武啓幸 村岡 渡 座長：千葉雅俊	13:50~15:20 ハンズオンセミナー 【顎関節腔穿刺法および 関節腔洗浄療法の実際と応用】 講師：村上賢一郎 川上哲司	14:30~15:00 ポスター撤去	
16:00	16:15~16:30 閉会式			
17:00				
18:00				

Timetable

July 19 (Saturday)

	Hall A Main hall	Hall B Sub hall 1・2	Hall C Sub hall 3, Community Hall/Lobby	Exhibition Community Hall/Lobby
9:00				
	9:15~9:30 Opening ceremony		9:00~10:00 Poster preparation	
10:00	9:30~11:00 Symposium 1	9:30~11:30 Oral sessions O-1~O-11		
11:00	11:10~11:40 Lecture, The investigator award of The Japanese Society for Tem- poromandibular Joint in 2013		10:00~13:00 Poster viewing	
12:00	11:50~12:50 Luncheon Seminar 1	11:50~12:50 Luncheon Seminar 2		
13:00			13:00~13:30 Poster sessions (Odd poster number)	9:00~17:00 Exhibition
14:00	13:40~15:50 Main Symposium	13:40~15:40 Oral sessions O-12~O-22		
15:00			13:30~18:00 Poster viewing	
16:00				
17:00	16:00~18:00 Evening Seminar			
18:00				

July 20 (Sunday)

	Hall A Main hall	Hall B Sub hall 1・2	Hall C Sub hall 3, Community Hall/Lobby	Exhibition Community Hall/Lobby
9:00	9:00~9:30 General meeting Award ceremony			
10:00	9:30~10:00 Briefing session about the board certified specialist system			
11:00	10:10~11:40 Symposium 2	10:10~11:35 Oral sessions 0-23~0-30	9:00~13:00 Poster viewing	
12:00	11:50~12:50 Luncheon Seminar 3	11:50~12:50 Luncheon Seminar 4		9:00~15:00 Exhibition
13:00			13:00~13:30 Poster sessions (Even poster number)	
14:00	13:40~14:30 Educational Lecture	13:30~13:50 Limited Attendance Seminar reception	13:30~14:30 Poster viewing	
15:00	14:40~16:10 Symposium 3	13:50~15:20 Limited Attendance Seminar	14:30~15:00 Removal of posters	
16:00	16:15~16:30 Closing ceremony			
17:00				
18:00				

お知らせとお願い

I. 学術大会参加者のみなさんへ

- 九州大学医学部百年講堂エントランスロビーにて受付を行います。

7月18日（金）13：00～17：00（事前登録受付のみ）

7月19日（土）8：30～17：00

7月20日（日）8：30～16：00

- 学術大会参加登録について

- 1) 会費前納（事前参加登録）をされた方は事前登録者受付にて、6月下旬に送付いたしました**参加章引換券（ハガキ）と交換で参加章をお受け取りください。**

・非会員の方：非会員受付で抄録集をお渡しします。

・会員の方：会員の方には学会誌として抄録集を事前に送付しておりますので必ずご持参ください（お忘れの場合は新たにご購入いただきます）。

- 2) 当日参加受付

当日登録される方は当日参加受付にて下記の料金を納入し、参加章をお受け取りください。

登録区分	当日会費
会員・非会員	15,000 円
パラデンタルスタッフ	12,000 円
学 生	5,000 円

- 3) 抄録集について

・受付にて1冊¥3,000にて販売いたします。

- 4) 参加章（ネームカード）には、所属・氏名をご記入の上、会場内で必ず着用してください。参加章を着用していない方の入場はお断りいたします。

- 5) 会員懇親会

会場：百年講堂 中ホール1・2（B会場）

時間：7月19日（土）18：20～（予定：イブニングセミナー終了次第開始）

会費：5,000 円

- 6) 下記については禁止とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

・会場内での飲食（ランチョンセミナー開催時の該当会場を除く）

※百年講堂内ロビー・交流ホールは飲食禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

・会場内での携帯電話の使用（マナーモードへの設定をお願いいたします）

・会場内での写真、ビデオ撮影（特に発表中の撮影とポスターパネル撮影は固くお断りいたします）及び録音

- 7) 会場内は禁煙です。

※九州大学病院キャンパス構内は全面禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 8) 演者・共同演者は日本顎関節学会会員に限ります。会員でない方は直ちに入会手続きをお取りください。

- 9) 日本顎関節学会への入会手続きは、（一財）口腔保健協会学会部日本顎関節学会（TEL：03-3947-8891）までお問い合わせください。学会期間中は、総合受付の日本顎関節学会入会および年会費受付にて手続きができます。

II. 会 場

A 会場 九州大学医学部百年講堂1階 大ホール：

開会式、メインシンポジウム、教育講演、学会賞学術奨励賞受賞講演、シンポジウム1～3、イブニングセミナー、総会・学会賞表彰式、専門医制度説明会、ランチョンセミナー（1, 3）、閉会式

B 会場 九州大学医学部百年講堂1階 中ホール1・2：

一般口演、ハンズオンセミナー、ランチョンセミナー（2, 4）

C会場 九州大学医学部百年講堂1階 中ホール3, 交流ホール・ロビー：
ポスター発表
交流ホール・ロビー：
企業展示

Ⅲ. 会員総会について

会員総会は第2日目（7月20日）9：00からA会場大ホールにて開催いたします。
できるだけ多くの会員の方々のご出席をお願いいたします。

Ⅳ. 発表される方へ

1. 一般演題（口演発表）の先生方へ

- 1) 発表時間7分，質疑応答3分です。
- 2) 発表時間の警告：発表終了1分前に黄ランプ，口演時間の終了時に赤ランプでお知らせいたします。時間厳守でお願いいたします。
- 3) 発表データの受付は，九州大学医学部百年講堂ロビーのPCデータ受付にて8：30より行います。一般口演の演者はセッションの始まる30分前までにPCデータ受付にお越しいただき，発表データの試写を行ってください。なお，20日に発表されるデータは前日19日の午後からでも受付可能です。
- 4) 発表はPowerPointを使用したコンピュータによる発表に限らせていただきます。
- 5) 会場で使用するPCの仕様について
 - (1) OS：Windows 7
 - (2) ソフト：Microsoft Office PowerPoint 2003/2007/2010/2013
- 6) 発表データについて

USB・CD-R持ち込みによる発表とします。USB・CD-Rに保存したデータが，他のPCでも読み込めることを事前にご確認ください。また枚数制限はしませんが，時間厳守でお願いします。

スライド作成の際，下記に示すMicrosoft社の標準フォントをご使用ください。特殊フォントは文字化けの可能性があるのでご注意ください。

[日本語] MSゴシック，MSPゴシック，MS明朝，MSP明朝

[英語] Times，Times New Roman，Arial

動画などの参照ファイルがある場合はすべてのデータを同じフォルダに保存してください。PowerPoint 2010，2013の場合も使用動画ファイルをバックアップとしてお持ちください。動画ファイルはWMV（ビットレート10Mbps以下）を推奨します。

また，バックアップデータをお持ちくださいますようお願いいたします。

なお，取り込んだ発表データは，学会終了後に事務局で責任をもって消去させていただきます。

7) 利益相反（COI）に関する記載について

口演発表スライド中に，「一般社団法人日本顎関節学会 利益相反（Conflict of Interest：COI）に関する細則」第1条にしたがって，様式2により，該当する利益相反状態について開示をお願いします。

利益相反に関する指針，細則，および開示様式につきましては，一般社団法人日本顎関節学会のホームページ（<http://kokuhoken.net/jstmj/info/interest.shtml>）に掲載しておりますので，必ずご覧になり，しかるべきご対応をお願いいたします。

8) 演台にはモニター・キーボード・マウス・レーザーポインターを設置しています。

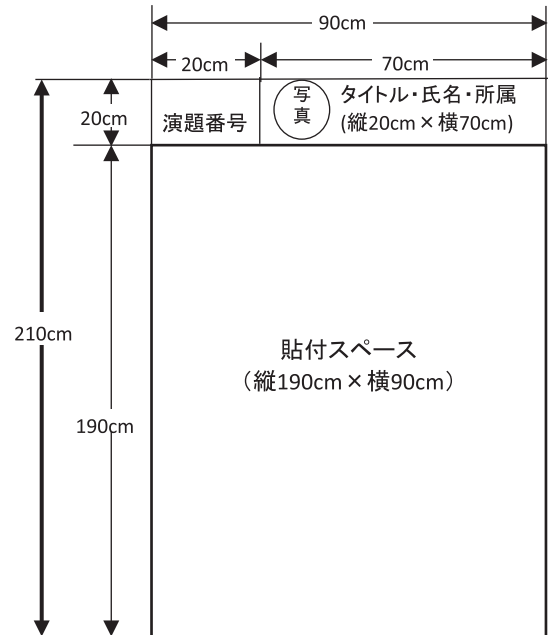
発表開始時にご自身のデータであることをご確認ください。コマ送りはご自身でお願いいたします。

*パソコン持ち込み時のお願い

- (1) 外部映像出力端子（ミニD-sub15ピン）付のパソコンをご用意ください。
- (2) ポートリプリケータ（映像出力端子[VGA]アダプター）が必要な機種は忘れずにお持ちください。
（例：MacBook，SONY VAIOなど）
- (3) スクリーンセーバー，省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。
- (4) バッテリー切れを防ぐためにAC電源アダプターをご用意ください。
- (5) 万一パソコンが不調な場合に備えてデータのバックアップをCD-RかUSBメモリでをご用意ください。
- (6) スムーズな進行を行うために，「発表者ツール」の使用はお控えください。発表原稿が必要な方は，あらかじめプリントアウトをお持ちください。会場でのプリントアウトは対応しておりません。

2. 一般演題（ポスター発表）の先生方へ

- 1) 質疑応答はC会場（中ホール3, 交流ホール・ロビー）にて行います。
- 2) ポスター掲示：すべてのポスター発表者は7月19日（土）午前10：00までに同会場のポスター受付で受付の後、指定番号のパネルに貼付してください。
- 3) 質疑応答の日時
奇数番号の演題：
7月19日（土）13：00～13：30
偶数番号の演題：
7月20日（日）13：00～13：30
☆発表者の先生は各自パネルの前にリボンをつけて立ってください。
- 4) ポスター撤去
7月20日（日）14：30～15：00
- 5) ポスターサイズ：縦210cm×横90cmのパネルボードをご用意しています。右図のとおりパネル上部左手に演題番号（縦20cm×横20cm）を大会事務局でご用意いたします。また画鋏も用意いたします。
*発表者の方に各自用意いただくもの（下記サイズで作成・用意願います）
タイトルサイズ：縦20cm×横70cm（発表者の顔写真，タイトル，氏名，所属を記載してください）
発表内容サイズ：縦190cm×横90cm



6) 利益相反（COI）に関する記載について

ポスター中に、「一般社団法人日本顎関節学会 利益相反（Conflict of Interest：COI）に関する細則」第1条にしたがって、様式2により、該当する利益相反状態について開示をお願いします。
利益相反に関する指針，細則，および開示様式につきましては，一般社団法人日本顎関節学会のホームページ（<http://kokuhoken.net/jstmj/info/interest.shtml>）に掲載しておりますので，必ずご覧になり，しかるべきご対応をお願いいたします。

3. 「ポスター発表優秀賞」について

本総会ではポスター発表者に対して“ポスター発表優秀賞”を授与します。
受賞ポスターパネルには7月19日（土）16：00頃にリボンを貼付いたします。
受賞者は直ちに受付までお越しください。表彰式は会員総会（7月20日（日）9：00～ A会場大ホール）にて行いますので必ずご出席ください。

V. 座長の先生方へ

1. 一般演題（口演発表）座長の先生方へ
 - 1) 各セッションの進行は座長にお任せいたします。
 - 2) セッション開始の15分前までに会場内の「次座長席」にご着席ください。

VI. 企業展示について

1. 日 時 第1日目（7月19日（土））9：00～17：00
第2日目（7月20日（日））9：00～15：00
2. 会 場 企業展示会場（交流ホール・ロビー）

Ⅶ. ランチョンセミナー

1. 開催日時 7月19日(土)(開催1日目) 11:50~12:50
7月20日(日)(開催2日目) 11:50~12:50
2. 会場 A会場(百年講堂大ホール), B会場(百年講堂中ホール1・2)
3. 整理券配布 7月19日(土)(開催1日目) 8:30~11:00
7月20日(日)(開催2日目) 8:30~11:00

*定員制。先着順に整理券をお渡しします。なくなり次第配布終了です。

*整理券のお渡しはお1人様につき1枚とさせていただきます。

Ⅷ. その他

1. クロークは百年講堂内ロビーにご用意しております。

開設時間は

第1日目(7月19日(土)) 8:30~20:00

第2日目(7月20日(日)) 8:30~16:45 の予定です。

(正式な時間は当日貼り出しいたします)

*貴重品(現金・カード・携帯電話・PCなど)および傘はお預かりできません。

*夜をまたいだお預かりもできません。当日中のお引き取りをお願いいたします。

Information for participants from overseas

I. To participants in Annual Meeting :

1. Registration desk will open in the entrance lobby on Kyushu University Hospital campus, Centennial Hall.

July 19 (Saturday) 8 : 30–17 : 00

July 20 (Sunday) 8 : 30–16 : 00

2. Registration

- 1) Pre-registration

For participant who has completed pre-registration, please pick up your badge and a program abstracts book at the registration desk.

- 2) On-site registration

Please pay the below registration fee and receive a badge and a program abstracts book at the registration desk.

Registration fee	¥10,000
------------------	---------

3. Abstracts book

Additional abstracts book is available at ¥3,000.

4. Enter your affiliation and name in the participation badge.

5. Get-together with members

Venue : Hall B (Sub Hall 1 · 2, Centennial Hall)

Time : July 19 (Saturday) 18 : 20–

Participation fee : ¥5,000

6. You are supposed to eat or drink only in the specified area. Use of cell-phones in the hall is prohibited. Set your cell-phone in the manner mode.
7. Smoking is prohibited throughout the Campus. Your kind cooperation would be appreciated.

II. Halls

Hall A : Main Hall (Centennial Hall)

Opening ceremony, Main symposium, Educational lecture, Lecture by the 2013 investigator award winner, Symposium 1–3, Evening seminar, Luncheon seminar (1, 3) and Closing ceremony

Hall B : Sub Hall 1 · 2 (Centennial Hall)

Oral sessions, Limited attendance seminar and Luncheon seminar (2, 4)

Hall C : Sub Hall 3, Community Hall/Lobby (Centennial Hall)

Poster presentation

Community Hall/Lobby (Centennial Hall)

Exhibition

III. To presenters of general subjects (poster presentation)

- 1) Poster presentation, Sub Hall 3 and Community Hall/Lobby will be used for presentation and discussion.
- 2) Poster : The presenters of posters are requested to go through procedures at the poster reception in the hall mentioned above by 10 : 00 a.m. on July 19 (Saturday) and then stick the poster to the panel with the specified number.
- 3) Removal of poster : July 20 (Sunday) 14 : 30–15 : 00

- 4) Size of posters : A panel board of 210 cm high and 90 cm wide will be provided.

The secretariat of the convention will prepare the subject number (20cm high and 20 cm wide) and stick it to the upper left part of the panel as shown on the right.

* Thumbtacks to stick your poster will be provided.

* Items to be prepared by the presenter

Title : 20 cm high and 70 cm wide

(Paste a photo of your face and write the title, name, and affiliation)

Size of content : 190 cm high and 90 cm wide

☆ Prepare the above within the specified area.

- 5) Conflict of interest disclosure

Please include statements for the Conflict of Interest in the bottom of your poster.

- 6) Poster discussion (Free discussion)

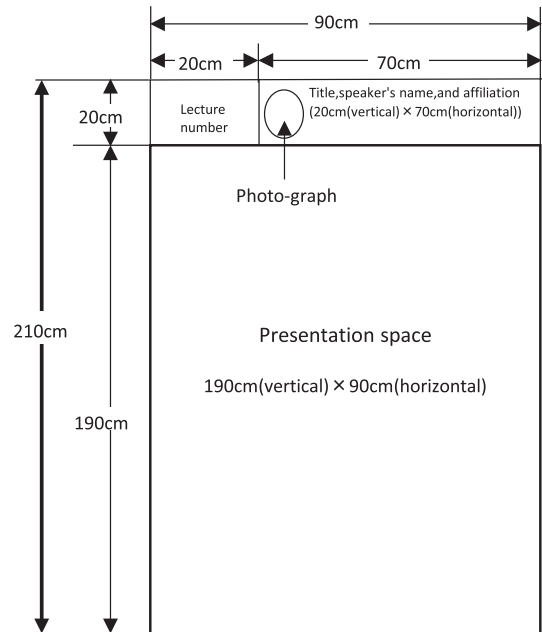
Odd poster number : July 19 (Saturday) 13 : 00–13 : 30

Even poster number : July 20 (Sunday) 13 : 00–13 : 30

Presenters are requested to wear the tag with a ribbon and stand in front of their own subject.

- 7) “Excellent Poster Award”

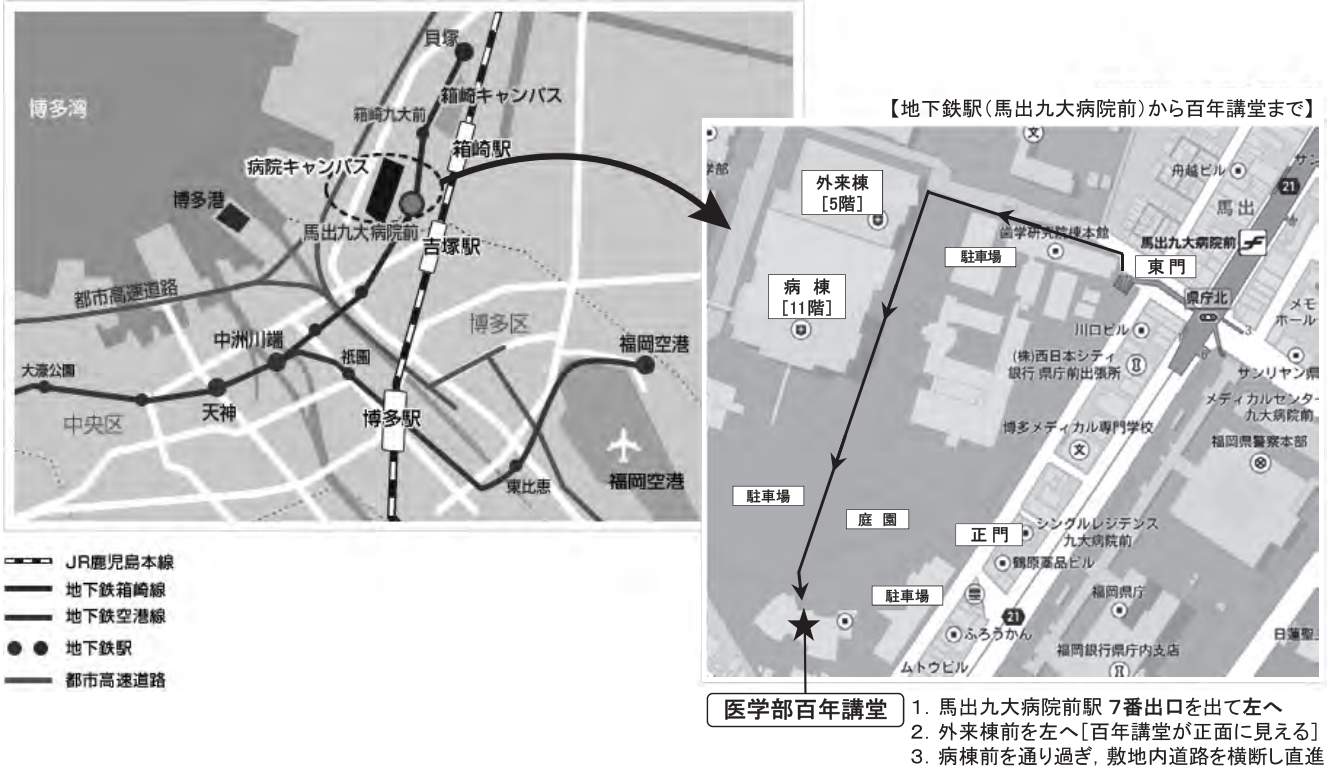
The “Excellent Poster Award” will be given to the excellent poster presenters at the general meeting. A ribbon will be put on the award winning posters around 16 : 00 on July 19 (Saturday). Award winners are requested to go to the registration desk immediately. The commendation ceremony will be conducted during the “General meeting” to be held from 9 : 00 on July 20 (Sunday). Please be sure to attend it.



IV. Others

1. Smoking is prohibited throughout the Campus. Your kind cooperation would be appreciated.
2. Cloak is located at the entrance lobby.

交通案内



【福岡空港からお越しの場合】

地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩 8分

【天神からお越しの場合】

地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩 8分

【JR 博多からお越しの場合】

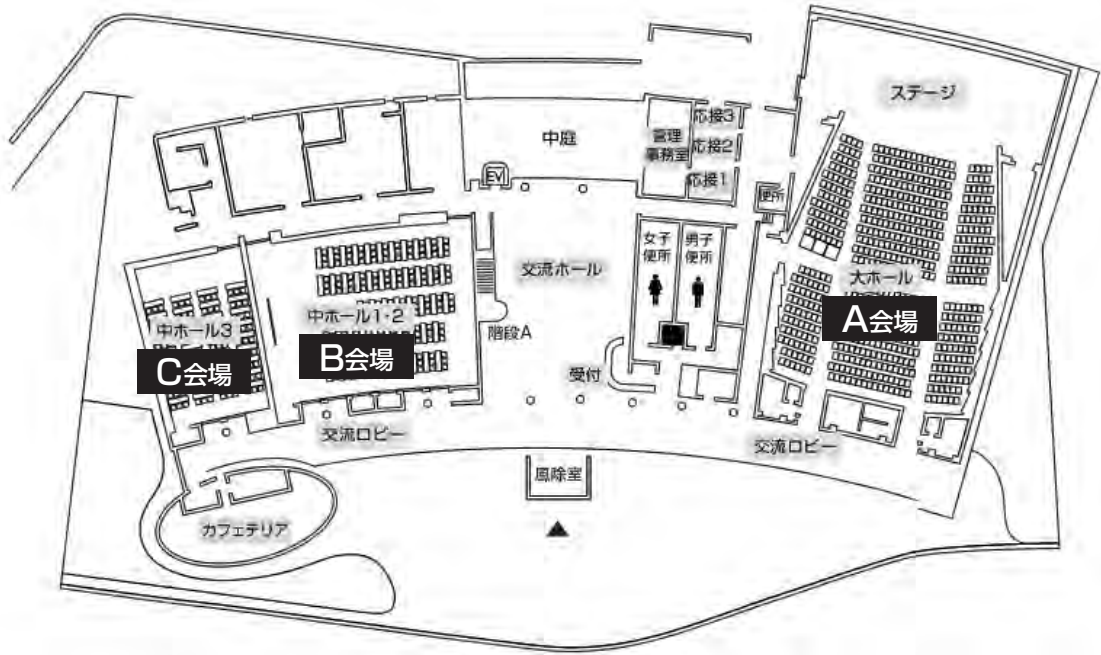
地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩 8分

【博多港からお越しの場合】

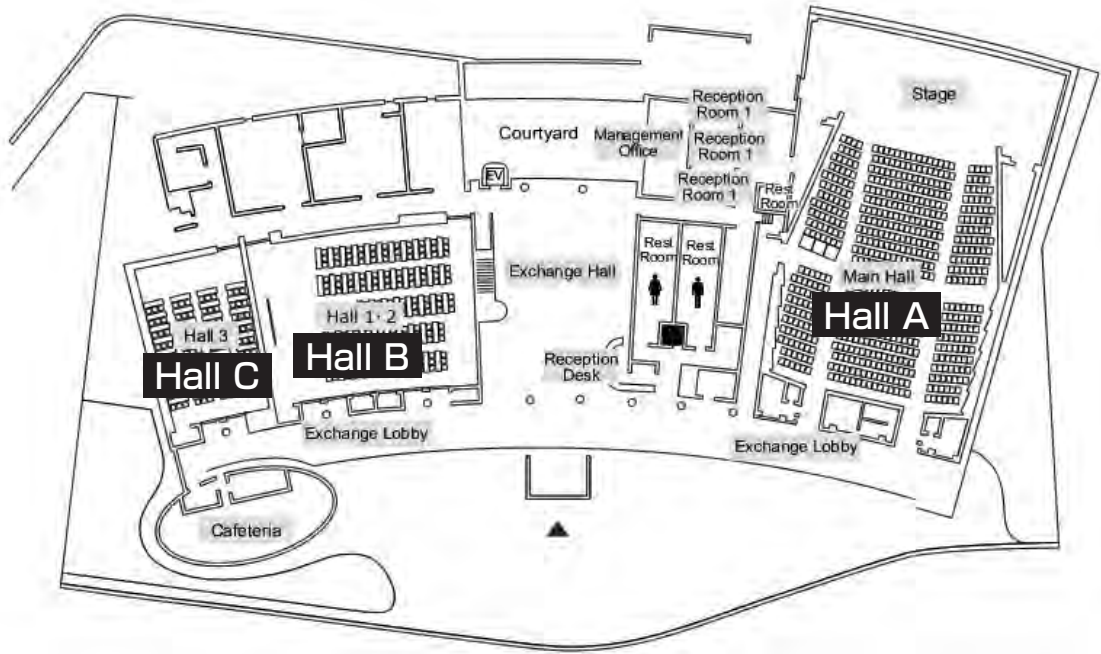
タクシーにて 20分

会場案内

1階
平面図



1F
Floor Plan



プログラム (第27回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会)

メインシンポジウム

A会場 (大ホール) 7/19 (土) 13:40~15:50

世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類，診断基準の変革がもたらすもの

座長：古谷野 潔 (九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野)

1. 新たに改訂された日本顎関節学会による顎関節症の病態分類 (2013) と診断基準
矢谷 博文
(大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 クラウンブリッジ補綴学分野)
2. Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD)
有馬 太郎
(北海道大学大学院歯学研究科 口腔機能学講座 冠橋義歯補綴学教室)
3. アメリカ口腔顔面痛学会 (AAOP) ガイドライン 第5版 [2013] の位置づけ
築山 能大
(九州大学大学院歯学研究院 口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野)
4. 国際頭痛分類 第3β版 (ICHD-3β) [2013] の概要：顎関節症の位置づけと鑑別疾患について
井川 雅子
(静岡市立清水病院口腔外科)
5. いわゆる2軸の評価と DSM-5
宮地 英雄
(北里大学医学部精神科学)

教育講演

A会場 (大ホール) 7/20 (日) 13:40~14:30

座長：小林 馨 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)

顎関節の臨床局所解剖

近藤 壽郎
(日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座)

シンポジウム 1

A 会場 (大ホール) 7/19 (土) 9:30~11:00

顎関節症の病因としてのブラキシズムの役割を探る

座長：窪木 拓男 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野)

1. 顎関節症とブラキシズムとの関係についての現在の理解—文献的考察—
大久保昌和
(日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座)
2. Sleep Bruxism は顎関節症の病因か？ これまでのエビデンスを整理する
山口 泰彦
(北海道大学大学院歯学研究科 口腔機能学講座 冠橋義歯補綴学教室)
3. Awake Bruxism は顎関節症の病因であるというエビデンスはあるか
藤澤 政紀
(明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野)

シンポジウム 2

A 会場 (大ホール) 7/20 (日) 10:10~11:40

顎関節症に対する理学療法の実際

座長：和嶋 浩一 (慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室)

1. イントロダクション 現在の顎関節症治療における理学療法の位置づけ
和嶋 浩一
(慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室)
2. 筋障害への対応—特に筋膜痛について—
原 節宏
(日本歯科大学附属病院総合診療科顎関節症診療センター)
3. クローズドロックへの対応
小木 信美
(愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座)
4. 理学療法をより効果的にするための TCH コントロール
西山 暁
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎関節口腔機能学分野)
5. 一般臨床医がどのように理学療法を取り入れていくか？
島田 淳
(医療法人社団グリーンデンタルクリニック)

シンポジウム3

A会場（大ホール） 7/20（日） 14：40～16：10

顎関節症の痛みに対する薬物療法の実際と展望

座長：千葉 雅俊（東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座 顎顔面・口腔外科学分野）

1. 一般臨床医が初期治療として行う薬物療法
澁谷 智明
（日立製作所横浜診療所歯科口腔外科）
2. 顎関節痛に対する薬物療法
儀武 啓幸
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面頸部機能再建学講座 顎顔面外科学分野）
3. 慢性筋痛に対する薬物療法
村岡 渡
（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室，川崎市立井田病院歯科口腔外科）

イブニングセミナー

A会場（大ホール） 7/19（土） 16：00～18：00

一般臨床医が治す顎関節症—問診・診察・検査・鑑別診断・治療—

座長：田口 望（田口歯科医院）
和気 裕之（みどり小児歯科）

1. 医療面接（いわゆる問診）
甲斐 貞子
（たていし歯科口腔外科クリニック）
2. 診察—視診・触診を中心に—
高野 直久
（高野歯科医院）
3. 顎関節症の検査
野澤 健司
（野澤歯科）
4. 鑑別診断
門脇 繁
（医療法人二期会 二期会歯科クリニック）
5. 治療と経過
塚原 宏泰
（塚原デンタルクリニック）

ハンズオンセミナー

B会場（中ホール1・2） 7/20（日）13：50～15：20

顎関節腔穿刺法および関節腔洗浄療法の実際と応用

村上賢一郎

（赤穂市民病院歯科口腔外科）

川上 哲司

（奈良県立医科大学口腔外科学講座）

平成 25 年度学会賞学術奨励賞受賞講演

A会場（大ホール） 7/19（土）11：10～11：40

座長：佐藤 博信（福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野）

ウサギ大脳皮質咀嚼野電気刺激により誘発された咀嚼様運動時の作業側顎関節における下顎頭と関節円板の協調運動

丸尾 尚伸

（愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座）

ランチョンセミナー 1

A 会場 (大ホール) 7/19 (土) 11:50~12:50

座長: 小林 馨 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)

顎関節部の画像診断: パノラマ, 四分画, CT (CBCT), MRI で見えるもの, 見えないもの

五十嵐千浪

(鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)

協賛: 朝日レントゲン工業株式会社

ランチョンセミナー 2

B 会場 (中ホール 1・2) 7/19 (土) 11:50~12:50

簡易貼付型睡眠時ブラキシズム測定装置の臨床試用について

水口 一

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野)

協賛: 株式会社モリタ

ランチョンセミナー 3

A 会場 (大ホール) 7/20 (日) 11:50~12:50

All-in-one エックス線撮影装置「プロマックス 2D/3D」シリーズ

林 和則

(株式会社ジーシー 九州営業所)

協賛: 株式会社ジーシー

ランチョンセミナー 4

B 会場 (中ホール 1・2) 7/20 (日) 11:50~12:50

座長: 中村 誠司 (九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野)

歯科における神経障害性疼痛

坂本 英治

(九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 歯科麻酔学分野)

協賛: ヤンセンファーマ株式会社

Program (The 27th Annual Meeting of The Japanese Society for Temporomandibular Joint)

Main Symposium

Hall A (Main hall) 7/19 (Sat) 13 : 40~15 : 50

Global trends and future perspectives of TMD management : Impact of the innovation of classification and diagnostic criteria

Chairperson : Kiyoshi Koyano (Section of Implant and Rehabilitative Dentistry, Division of Oral Rehabilitation, Faculty of Dental Science, Kyushu University)

1. TMD classification (2013) and its diagnostic criteria newly revised by The Japanese Society for Temporomandibular Joint
Hirofumi Yatani
(Department of Fixed Prosthodontics, Osaka University Graduate School of Dentistry)
2. Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD)
Taro Arima
(Department of Crown and Bridge Prosthodontics, Graduate School of Dental Medicine, Hokkaido University)
3. Impact of the American Academy of Orofacial Pain (AAOP) guidelines for assessment, diagnosis, and management, 5th edition [2013]
Yoshihiro Tsukiyama
(Section of Implant and Rehabilitative Dentistry, Division of Oral Rehabilitation, Faculty of Dental Science, Kyushu University)
4. The International Classification of Headache Disorders, 3rd edition (beta version) (ICHD-3 β) [2013] : Classification for TMDs and differential diagnosis
Masako Ikawa
(Department of Oral Surgery, Orofacial Pain Clinic, Shizuoka – Shimizu Municipal Hospital)
5. Axis 2 diagnosis and DSM-5
Hideo Miyachi
(Department of Psychiatry, Kitasato University, School of Medicine)

Educational Lecture

Hall A (Main hall) 7/20 (Sun) 13 : 40~14 : 30

Chairperson : Kaoru Kobayashi (Department of Oral and Maxillofacial Radiology and Diagnosis, Tsurumi University, School of Dental Medicine)

Clinical topographic anatomy of the temporomandibular joint

Toshirou Kondoh

(Department of Maxillofacial Surgery, Nihon University School of Dentistry at Matsudo)

Symposium 1

Hall A (Main hall) 7/19 (Sat) 9 : 30~11 : 00

Sleep and daytime bruxism and temporomandibular disorders

Chairperson : Takuo Kuboki (Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

1. Current understanding of relationship between TMDs and bruxism—Literature review—

Masakazu Okubo

(Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Department of Removable Prosthodontics)

2. Is sleep bruxism a risk factor for temporomandibular disorders? Review of evidence in previous researches

Taihiko Yamaguchi

(Department of Crown and Bridge Prosthodontics, Graduate School of Dental Medicine, Hokkaido University)

3. Do we have any evidence for awake bruxism as a causal factor on TMD?

Masanori Fujisawa

(Division of Fixed Prosthodontics, Department of Restorative & Biomaterials Sciences, School of Dentistry, Meikai University)

Symposium 2

Hall A (Main hall) 7/20 (Sun) 10 : 10~11 : 40

Clinical practice of physical therapy for TMDs

Chairperson : Koichi Wajima (Department of Dentistry and Oral Surgery, School of Medicine, Keio University)

1. Introduction of the symposium : Status of physical therapy in the current treatments of TMDs
Koichi Wajima
(Department of Dentistry and Oral Surgery, School of Medicine, Keio University)
2. Management for muscle disorders of TMD : Focus on myofascial pain and/with referral
Setsuhiro Hara
(TMD Clinic, The Nippon Dental University Hospital)
3. Effects of physical therapy on TMJ closed lock
Nobumi Ogi
(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Aichi Gakuin University School of Dentistry)
4. TCH control for increasing the effect of physical therapy
Akira Nishiyama
(Temporomandibular Joint and Oral Function, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University)
5. How general practitioners incorporate physical therapy?
Atsushi Shimada
(Green Dental Clinic Medical Corporation)

Symposium 3

Hall A (Main hall) 7/20 (Sun) 14 : 40~16 : 10

Current situation and future perspectives of pharmacologic management for TMD pain

Chairperson : Masatoshi Chiba (Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Oral Medicine and Surgery, Tohoku University Graduate School of Dentistry)

1. Pharmacologic management as an initial treatment for TMD by general practitioners
Tomoaki Shibuya
(Department of Dentistry and Oral Surgery, Hitachi, Ltd., Yokohama Clinic)
2. Pharmacologic management for temporomandibular joint pain
Hiroyuki Yoshitake
(Department of Maxillofacial Surgery, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University)
3. Pharmacologic management for chronic pain of the masticatory muscle
Wataru Muraoka
(Department of Dentistry and Oral Surgery, School of Medicine, Keio University)

Evening Seminar

Hall A (Main hall) 7/19 (Sat) 16 : 00~18 : 00

Management of TMDs by general practitioners—Interview, clinical examination, diagnostic tests, differential diagnosis and management—

**Chairperson : Nozomu Taguchi (Medical Corporation Taguchi Dental Clinic)
Hiroyuki Wake (Midori Pediatric Dental Clinic)**

1. Medical interview
Sadako Kai
(Tateishi Dental Clinic and Oral Surgery)
2. Consultation (Examination)
Naohisa Takano
(Takano Dental Clinic)
3. Examination for temporomandibular disorders
Kenji Nozawa
(Nozawa Dental Clinic)
4. Differential diagnosis of most common temporomandibular disorders
Shigeru Kadowaki
(Nikikai Dental Clinic)
5. Treatment and follow up
Hiroyasu Tsukahara
(Tsukahara Dental Clinic)

Limited Attendance Seminar

Hall B (Sub hall 1・2) 7/20 (Sun) 13 : 50~15 : 20

Surgical puncture, pumping, and arthrocentesis for the temporomandibular joint disorders and diseases

KenIchiro Murakami¹, Tetsuji Kawakami²
(Visiting Professor and Consultant OMS, Ako City Hospital and Kanagawa Dental College¹,
Senior Lecturer and Assistant Professor of OMS, Nara Medical University²)

Lecture, The investigator award of The Japanese Society for Temporomandibular Joint in 2013

Hall A (Main hall) 7/19 (Sat) 11 : 10~11 : 40

Chairperson : Hironobu Sato (Section of Fixed Prosthodontics, Department of Oral Rehabilitation, Fukuoka Dental College)

Coordinated movements of the mandibular condyle and articular disk on the working side during masticatory-like movements induced by electrical stimulation on the cortical masticatory area in rabbits

Hisanobu Maruo

(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Aichi Gakuin University, School of Dentistry)

Luncheon Seminar 1

Hall A (Main hall) 7/19 (Sat) 11 : 50~12 : 50

Chairperson : Kaoru Kobayashi (Department of Oral and Maxillofacial Radiology and Diagnosis, Tsurumi University, School of Dental Medicine)

Image diagnosis of Temporomandibular Joint : Panoramic radiography, TMJ radiography by using panoramic radiography, Computed tomography (Cone-beam CT), Magnetic resonance imaging

Chinami Igarashi

(Department of Oral and Maxillofacial Radiology and Diagnosis, Tsurumi University, School of Dental Medicine)

Sponsored : Asahi Roentgen Ind. Co., Ltd.

Luncheon Seminar 2

Hall B (Sub hall 1・2) 7/19 (Sat) 11 : 50~12 : 50

Clinical application of miniature all-in-one sleep bruxism detection/analyzing device (BiteStrip®)

Hajime Minakuchi

(Department of Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

Sponsored : J. Morita Corporation

Luncheon Seminar 3

Hall A (Main hall) 7/20 (Sun) 11 : 50~12 : 50

All-in-one X-rays photographic device “ProMax 2D/3D” series

Kazunori Hayashi
(GC Corporation Kyushu Branch)

Sponsored : GC Corporation

Luncheon Seminar 4

Hall B (Sub hall 1・2) 7/20 (Sun) 11 : 50~12 : 50

Chairperson : Seiji Nakamura (Section of Oral and Maxillofacial Oncology, Division of Maxillofacial Diagnostic and Surgical Sciences, Faculty of Dental Science, Kyushu University)

Neuropathic pain in dentistry

Eiji Sakamoto
(Department of Dental Anesthesiology, Kyushu University)

Sponsored : Janssen Pharmaceutical K.K.

▶9：30～10：10 骨折；炎症

座長：高橋 哲（東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座 顎顔面・口腔外科学分野）

- O-1 頭部用コーンビーム CT を用いて精査を行った下顎骨関節突起骨折症例についての検討
Fractures in condylar process of mandible diagnosed using cone-beam CT
東海林 理, 泉澤 充, 佐藤 仁, 高橋 徳明, 小豆嶋正典
(岩手医科大学歯学部口腔顎顔面再建学講座歯科放射線学分野)
- O-2 顎関節症滑膜炎炎症機序の解明
Elastin-derived peptides induce inflammatory responses in synovial cells of human
小林 一彦¹, 田中 彰¹, 高塚 茂行², 川尻 秀一¹, 中村 博幸¹
(¹金沢大学大学院医薬保健学総合研究科がん医科学専攻細胞浸潤学分野 (歯科口腔外科), ²公立松任石川中央病院歯科口腔外科)
- O-3 原因の特定に苦慮した化膿性顎関節炎の1例
A case of suppurative temporomandibular arthritis which was difficult to identify the accurate cause
高辻 紘之¹, 新美 奏恵^{1,2}, 小林 正治¹
(¹新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野, ²新潟大学医歯学総合病院地域保健医療推進部)
- O-4 顎関節を初発部位とする早期関節リウマチに対してエタネルセプトを用いた1例
A case used etanercept to treat early rheumatoid arthritis of temporomandibular joint as a first region
安部 貴大¹, 立石 晶子², 小宮山雄介³, 波田野典子¹, 細川瑠美子¹,
阿部 雅修¹, 小笠原 徹¹, 高戸 毅¹
(¹東京大学医学部附属病院顎口腔外科・歯科矯正歯科, ²東京大学医学部附属病院アレルギーリウマチ内科, ³東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部)

▶10：15～10：45 ~~滑膜炎；腫瘍~~・腫瘍性病変

座長：高木 律男（新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 顎顔面口腔外科学分野）

- O-5 下顎頭の高度骨吸収を伴う巨大な滑膜性軟骨腫症の1例
A case of giant synovial chondromatosis with severe condylar resorption
栗原 淳¹, 宮下 仁¹, 熊本 裕行², 長坂 浩³, 高橋 哲¹
(¹東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野, ²東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野, ³独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 歯科口腔外科)

- O-6 滑膜性軟骨腫症に関節鏡支援下に手術が奏功した 1 例
Arthroscopy assisted TMJ open surgery in a patient with synovial chondromatosis
中塚 真愛, 村上賢一郎, 柴岡 秀人
(赤穂市民病院歯科口腔外科)

- O-7 顎関節部に発生しガングリオン嚢胞と診断された 1 例
A case of suspected ganglion cyst in the temporomandibular joint
本田 和也, 松本 邦史, 橋本 光二, 荒木 正夫, 江島硬一郎,
澤田久仁彦, 川嶋 祥史, 亀岡 重雄, 雨宮 俊彦
(日本大学歯学部歯科放射線学講座)

▶10:50~11:30 代謝性疾患；筋炎；咀嚼筋腱・腱膜過形成症

座長：儀武 啓幸（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面顎部機能
再建学講座 顎顔面外科学分野）

- O-8 高齢者の顎関節に生じた巨大なピロリン酸カルシウム結晶沈着症の 1 例
A case of huge calcium pyrophosphate dihydrate crystal deposition disease in the temporo-
mandibular joint
森影 恵里¹, 榎本 明史¹, 磯村恵美子², 中原 寛和¹, 内橋 隆行¹,
濱田 傑¹
(¹近畿大学医学部附属病院歯科口腔外科, ²大阪大学大学院歯学研究科口腔
外科学第一教室)

- O-9 顎関節部に両側性に生じた偽痛風の 1 例
A case of pseudogout of bilateral temporomandibular joint
上野山敦士¹, 安島 久雄^{1,3}, 池田 順行^{1,3}, 大貫 尚志¹, 荒井 良明³,
西山 秀昌², 高木 律男^{1,3}
(¹新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野, ²新潟大学大学
院医歯学総合研究科顎顔面放射線学分野, ³新潟大学医歯学総合病院顎関
節治療部)

- O-10 顎関節強直症との鑑別に苦慮した智歯周囲炎に起因した慢性内側翼突筋炎の 1 例
A case of medial pterygoid muscle chronic inflammation caused by pericoronitis of wisdom
tooth complicated with symptoms similar to temporomandibular joint ankylosis
野上 以織^{1,3}, 勝田 秀行¹, 船登 雅彦², 代田 達夫¹
(¹昭和大学歯学部口腔外科, ²昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講
座顎関節症治療学部門, ³浦和吉見歯科クリニック)

- O-11 咀嚼筋腱・腱膜過形成症に対して保存療法が奏効した 3 症例
Managed by nonsurgical treatment in three patients with masticatory muscle and tendon
hyperplasia with severe limited jaw opening
村上賢一郎¹, 山口 芳則², 西村 一行², 岡野 健², 中塚 真愛¹,
柴岡 秀人¹
(¹赤穂市民病院歯科口腔外科, ²草津総合病院)

▶ 13 : 40~14 : 20 顎関節脱臼

座長：米津 博文（福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野）

O-12 顎関節脱臼患者に関する後ろ向きアンケート調査（2012年）—患者背景—

A retrospective questionnaire on temporomandibular joint dislocation (2012) —Background of the patients—

金澤 香¹, 柴田 考典¹, 久保田英朗², 栗田 賢一³, 古森 孝英⁴

(¹北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野, ²神奈川歯科大学顎顔面外科学講座, ³愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座, ⁴神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野)

O-13 顎関節脱臼患者に関する後ろ向きアンケート調査（2012年）—治療結果—

A retrospective questionnaire on temporomandibular joint dislocation (2012) —Consequence of treatments—

柴田 考典¹, 久保田英朗², 栗田 賢一³, 古森 孝英⁴, 金澤 香¹

(¹北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野, ²神奈川歯科大学顎顔面外科学講座, ³愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座, ⁴神戸大学大学院医学研究科外科系講座口腔外科学分野)

O-14 習慣性顎関節脱臼に対して関節結節切除術を施行した5例の検討

A clinical analysis of 5 cases of eminectomy for habitual luxation of the temporomandibular joint

岩永 譲¹, 中村 芳明^{1,2,3}, 木原 俊之^{1,4}, 古賀 千尋³, 楠川 仁悟¹

(¹久留米大学医学部歯科口腔医療センター, ²高木病院歯科口腔外科, ³福岡歯科大学口腔医療センター, ⁴済生会日田病院歯科口腔外科)

O-15 当院における顎関節脱臼症例の臨床統計的検討

Clinical statistical investigation of temporomandibular joint dislocation

奥山 淳史, 岡本 俊宏, 山口 陽平, 長縄 拓哉, 佐々木 亮,
深田 健治

(東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学教室)

▶ 14 : 25~14 : 55 ジストニア；遠隔医療システム開発

座長：小見山 道（日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座）

O-16 顎口腔ジストニアにより陳旧性両側性顎関節脱臼を生じた1例

A case of long-standing bilateral anterior dislocation due to oromandibular dystonia

上田 順宏, 川上 哲司, 青木久美子, 高嶋 森彦, 今井裕一郎,
桐田 忠昭

(奈良県立医科大学口腔外科学講座)

- O-17 感覚トリックを認めた顎口腔ジストニアの2例
Two cases of oromandibular dystonia with sensory trick

高橋 雅幸
(防衛医科大学校歯科口腔外科)

- O-18 モバイルネットワークを介した遠隔歯科医療システムの開発
Development of the teledentistry system via a mobile network

櫻井 直樹, 昆 はるか
(新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野)

▶ 15:00~15:40 慢性疼痛；背景因子；鑑別診断

座長：岡田 和樹（北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門）

- O-19 東京都内一般歯科診療所受診者におけるパソコン時間と顎関節症患者背景因子の検討
Examination of personal computer operating time and clinical background factors of patients with temporomandibular disorders at general clinical offices in Metropolitan Tokyo

玉井 和樹¹, 杉崎 正志^{1,2}, 高野 直久³, 来間 恵里¹, 伊介 昭弘¹,
林 勝彦¹, 高山 岳志¹, 米澤 輝久¹, 竹内 理華¹, 木野 孔司⁴,
西山 暁⁴
(¹東京慈恵会医科大学歯科, ²鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座, ³東京都歯科医師会, ⁴東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎関節口腔機能学分野)

- O-20 顎関節症患者の質的な痛みの評価と痛みに対する破局的思考の関連について
The relationship between pain qualitative evaluation and pain catastrophizing

廣谷 拓章¹, 千葉 雅俊², 高橋 哲²
(¹大崎市民病院歯科口腔外科, ²東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座顎顔面・口腔外科学分野)

- O-21 顎関節症患者の破局的思考と生活障害度との関連
The relationship between pain catastrophizing and the severity of disability of daily living in patients with temporomandibular disorder

千葉 雅俊, 廣谷 拓章, 高橋 哲
(東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座顎顔面・口腔外科学分野)

- O-22 FiRST を用いた線維筋痛症と顎関節症の鑑別
Diagnosis between fibromyalgia and TMD with FiRST

小杉 謙介¹, 荻野 祐一², 斎藤 繁², 横尾 聡¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科顎口腔科学分野, ²群馬大学麻酔神経科学)

▶ 10：10～10：50 MRI：顎関節，咀嚼筋

座長：柿本 直也（大阪大学大学院歯学研究科 口腔分化発育情報学講座 歯科放射線学教室）

O-23 T2 強調画像および FLAIR 画像による顎関節円板の信号強度の検討

Signal intensity of TMJ disc on T2 weighted and FLAIR images

藤倉満美子^{1,2}，音成（山本）実佳^{1,2}，西川 慶一^{1,2}，黒田 沙^{1,2}，
和光 衛^{1,2}，佐野 司^{1,2}

（¹昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座歯科放射線医学部門，²東京歯科大学歯科放射線学講座）

O-24 MR 画像を用いた下顎頭前機能面面積の定量的評価

Quantitative analysis of functional area in the mandibular condyle using magnetic resonance imaging

小樋 香織¹，小佐野貴識²，五十嵐千浪²，小林 馨²，大久保力廣¹

（¹鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座，²鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

O-25 顎関節症における下顎頭形態変化の臨床的意義

Clinical study on morphological bone changes of the condyle in temporomandibular disorders

高原 楠旻¹，坂本 一郎²，中川 聡¹，角倉可奈子¹，津島 文彦¹，
今井 英樹³，櫻井 仁亨¹，宮村 寿一¹，依田 泰¹，塚原 宏泰¹

（¹東京医科歯科大学大学院顎口腔外科学分野，²坂本歯科医院，³日立製作所ひたちなか総合病院歯科口腔外科）

O-26 片側咬筋痛における咬筋 T2 値差の痛みの種類による検討

The analysis of T2 value differences associated pain features of masseter muscle pain with temporomandibular disorder

新國 農，西山 秀昌，林 孝文

（新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面放射線学分野）

▶ 10：55～11：35 ブラキシズム；スプリント療法

座長：前川 賢治（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野）

O-27 低レベルで長時間に渡る実験的クレンチングがヒト咬筋内血液組成に与える影響

Blood oxygenation responses to an experimental prolonged, repeated, low-level tooth clenching in human masseter

竹内多美代，有馬 太郎

（北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座冠橋義歯補綴学教室）

- O-28 上下歯列接触癖 (TCH) の軽減を確実に見極めるための小装置
A simple device for ascertaining reduction of teeth contacting habit
松浦 尚志, 佐藤 博信
(福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野)
- O-29 睡眠時無呼吸発作と睡眠時咀嚼筋活動の関連性
The association between sleep apnea-hypopnea event and masticatory muscle activity during sleep
斎藤 未来¹, 山口 泰彦², 三上 紗季¹, 後藤田章人¹, 岡田 和樹^{1,3},
菱川 龍樹⁴
(¹北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門, ²北海道大学大学院歯学研究科冠橋義歯補綴学教室, ³北海道大学大学院歯学研究科顎機能医療学講座, ⁴北海道大学病院歯科放射線科)
- O-30 非スプリント療法に対する, スプリント療法の併用効果 サブグループ解析を用いた病態特異性の評価
Effectiveness of splint therapy combined with non-splint therapy for treating temporomandibular disorders : subgroup analysis of the pathological type
堀 慧, 永田 和裕, 笠間 匠, 圓山 浩晃, 横江 朋子, 菅原 佳広
(日本歯科大学新潟病院あごの関節・歯ぎしり外来)

▶基礎研究

- P-1 抗II型コラーゲン抗体関節炎モデルマウスにおける造影MRマイクロイメージングを用いた滑膜透過性の解析
Analysis of the synovial membrane permeability of temporomandibular joint using contrast-enhanced MRI in type II collagen antibody-induced arthritis model mice
山崎 文恵^{1,2}, 近藤 壽郎¹
(¹日本大学松戸歯学部顎顔面外科学, ²獨協医科大学医学部生理学)
- P-2 変形性顎関節症の病態形成における Smad3 の役割
Role of Smad3 signaling in pathogenesis of TMJ-OA
森 浩喜¹, 井澤 俊², 田中 栄二²
(¹徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学専攻口腔顎顔面矯正学分野, ²徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面矯正学分野)
- P-3 顎関節部滑膜細胞における DHEA の lumican, fibromodulin に対する効果
Expression of lumican and fibromodulin following DHEA stimulation of synovial cell of the human temporomandibular joint
岡本健二郎, 木賀 紀文, 楨野 秀一, 篠原 裕志, 山田真沙偉,
郷 与志彦, 東條 格, 藤田 茂之
(和歌山県立医科大学口腔顎顔面外科学講座)
- P-4 IL-17 刺激ヒト顎関節滑膜細胞での炎症性サイトカイン発現
The expressions of inflammatory cytokines in IL-17-stimulated synovial cells of the human temporomandibular joints
服部 俊夫¹, 小倉 直美^{1,2}, 阿久津美和^{1,2}, 河島 睦¹, 渡邊 駿¹,
伊藤 耕^{1,2}, 近藤 壽郎^{1,2}
(¹日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座, ²日本大学松戸歯学部口腔科学研究部)
- P-5 顎関節荷重負荷がラット関節円板の proteoglycan mRNA 発現に及ぼす影響
Effects of mechanical joint loading on the expression of proteoglycan mRNA in rat TMJ discs
中尾 友也, 櫻尾 治奈, 鳥谷奈保子, 林 一夫, 溝口 到
(北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系歯科矯正学分野)

- P-6 骨再生における自己組織化ナノペプチドハイドロゲルの応用**
Application of self-assembling peptid hydrogel scaffold on the bone regeneration
林 宰央¹, 恩田 健志¹, 長谷川大悟¹, 加藤 宏¹, 篠 宏美²,
横山 暁子², 小野寺昌子², 須賀賢一郎¹, 大畠 仁¹, 柴原 孝彦¹,
東 俊文²
(¹東京歯科大学口腔外科学講座, ²東京歯科大学学生化学講座)
- P-7 過度な機械的負荷受容時の軟骨代謝におけるメカノレセプターの役割**
Role of mechanoreceptor in the metabolism of chondrocytes under excessive mechanical stimuli
岡本 友希¹, 麻川 由起², 白倉 麻耶², 廣瀬 尚人², 光吉 智美²,
蘇 少卿², 以呂免和子¹, 谷本幸太郎²
(¹広島大学大学院医歯薬保健学研究院医歯薬学専攻歯学講座 (歯科矯正学), ²広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門 (歯科矯正学))
- P-8 顎関節軟骨細胞に対する過度な機械的伸展刺激が EP4 受容体を介した基質分解に及ぼす影響**
Matrix degradation via EP4 receptor in condylar chondrocytes under excessive mechanical stress
光吉 智美, 蘇 少卿, 麻川 由起, 廣瀬 尚人, 栗田 哲也,
岡本 友希, 以呂免和子, 谷本幸太郎
(広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門 (歯科矯正学))
- P-9 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の病態解明のための腱細胞に対するエストロゲンおよび β -crystallin A4 の機能解析**
Functional analysis of estrogen and β -crystallin A4 in tenocytes for elucidation of pathologic conditions in masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia
林 直樹, 佐藤 毅, 古株彰一郎, 榎木祐一郎, 大久保正彦,
小宮山雄介, 大庭 伸介, 川上 哲司, 桐田 忠昭, 依田 哲也
(埼玉医科大学病院口腔外科)
- P-10 交感神経切除が成長期のウサギの咬筋におよぼす影響について**
Enzyme histochemical adaptive responses and morphological changes of the masseter muscle after sympathectomy of superior cervical ganglion in growing rabbits
佐藤 淳¹, 小笠原利行², 佐野 和生³, 北川 善政¹
(¹北海道大学大学院歯学研究科口腔病態学講座口腔診断内科学教室, ²福井総合病院歯科口腔外科, ³福井大学医学部医学科感覚運動医学講座歯科口腔外科領域)
- P-11 明暗サイクルおよび睡眠-覚醒サイクルに伴うマウス咬筋活動の変化**
Modulation of masseter activity level by circadian and ultradian rhythm in mice
片山 慶祐^{1,2}, 馬場 一美¹, 井上 富雄²
(¹昭和大学歯学部歯科補綴学講座, ²昭和大学歯学部口腔生理学講座)

▶ 臨床研究

- P-12 ホームページへの問い合わせから見た顎関節症の実態調査
Survey of TMD seen from an inquiry to the home page
島田 淳
(医療法人社団グリーンデンタルクリニック)
- P-13 高齢顎関節症患者の臨床的検討
A clinical evaluation in geriatric patients with temporomandibular disorders
藤田 宏人^{1,2}, 川上 哲司², 大槻 榮人^{1,2}, 瓦井真貴子¹, 川上 正良²,
桐田 忠昭²
(¹医療法人社団おおつき会大槻歯科医院, ²奈良県立医科大学口腔外科学講座)
- P-14 小・中学生の最大開口域, 顎関節症および咀嚼筋腱・腱膜過形成症に関する横断的, 縦断的疫学調査
A cross-longitudinal epidemiological study of range of mouth opening, temporomandibular disorders and masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia in elementary and junior high school students
中岡千恵里¹, 林 直樹¹, 北村 智久¹, 大久保正彦¹, 佐野 良恵¹,
榎木祐一郎¹, 福島 洋介¹, 佐藤 毅¹, 西村 享², 春山 良夫²,
前川 安², 計田 文法², 高柳 育行², 依田 哲也¹
(¹埼玉医科大学医学部口腔外科学教室, ²本庄市児玉郡歯科医師会)
- P-15 中学校健診における顎関節調査法の検討とその疫学的特徴
The examination of the temporomandibular joint investigation method in the junior high school medical examination and the epidemiological characteristic
佐藤 文明^{1,2}, 西山 暁³, 木野 孔司³, 戸邊 昌子³, 木村 浩子³,
渋谷 寿久³, 塚越 香³, 儀武 啓幸², 小林 明子², 和気 創²,
大友奈津子³, 原田 清²
(¹佐藤歯科医院, ²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野, ³東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎関節口腔機能学分野)
- P-16 管楽器演奏を部活動とする中学生における顎関節および筋症状の発現性
Development of temporomandibular and muscular dysfunction among junior high school students who play wind instruments in club activities
安田恵理子, 本田 公亮, 藤原 正識, 首藤 敦史, 長谷川陽子
(兵庫医科大学歯科口腔外科学講座)
- P-17 管楽器吹奏時の癖と顎関節症
Relationship between habits of playing wind instruments and TMD symptoms
神山 美穂¹, 土田愛梨沙², 西山 暁¹, 木野 孔司¹
(¹東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎関節口腔機能学分野, ²東京大学医学部附属病院口腔外科・歯科矯正歯科)

- P-18 顎関節症と耳疾患の関係に関する臨床研究—第1報—**
 Clinical study on relationship between temporomandibular disorder and ear disease—the first report—
 岡本 彩子¹, 松尾 朗¹, 虻川 東嗣¹, 浜田 勇人¹, 渡邊 純¹,
 西山 信宏², 河口 幸江², 許斐 氏元², 近津 大地¹
 (¹東京医科大学口腔外科学分野, ²東京医科大学耳鼻咽喉科学分野)
- P-19 顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害に関する調査—紹介により顎関節症外来を受診した患者における検討—**
 An investigation about the differential diagnosis of TMD on patients who consulted our clinic with letters of introduction
 松本 文博¹, 藤澤 健司², 細木 秀彦³, 安陪 晋⁴, 松香 芳三⁵,
 田中 栄二⁶
 (¹徳島大学病院歯科口腔外科(口腔内科), ²徳島大学病院歯科口腔外科(口腔外科), ³徳島大学病院歯科(放射線科), ⁴徳島大学病院総合歯科, ⁵徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顎機能咬合再建学分野, ⁶徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面矯正学分野)
- P-20 鑑別診断を考慮した顎関節症問診票**
 Medical interview sheet for TMD that considers differential diagnosis
 立石 良文, 甲斐 貞子
 (たていし歯科口腔外科クリニック)
- P-21 下顎頭復位法を外科矯正手術に用いた顎関節の術後評価**
 Evaluation of postoperative temporomandibular joint with condylar repositioning method in orthodontic surgery
 古谷 忠典
 (ユニ矯正歯科クリニック)
- P-22 CBCT を利用した術前スプリント療法と SSRO 手術における術前後の顎関節の評価**
 Evaluation of the temporomandibular-joint in pre-post SSRO surgery and the preoperative splint therapy using CBCT
 野々山大介¹, 古谷 忠典²
 (¹ののやま矯正歯科医院, ²ユニ矯正歯科クリニック)
- P-23 外科療法を施行した関節突起部骨折の臨床的検討**
 Clinical study of condylar fracture of the mandible in our department
 恩田 健志, 林 宰央, 重野健一郎, 加藤 宏, 右田 雅士, 大島 仁,
 柴原 孝彦
 (東京歯科大学口腔外科学講座)

- P-24 当科における下顎骨関節突起骨折の臨床的検討**
 Clinical examination of the mandibular condyle fracture
 永田 順子, 温水佳世子, 馬場 貴, 近藤 雄大, 井川 加織,
 山下 善弘
 (宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野)
- P-25 顎関節脱臼症例の臨床的検討**
 Clinical analysis of temporomandibular joint luxation
 岡澤 信之, 川上 哲司, 上田 順宏, 藤田 宏人, 大河内則正,
 小向井英記, 都築 正史, 高山 賢一, 大槻 榮人, 桐田 忠昭
 (奈良県立医科大学口腔外科学講座)
- P-26 顎関節脱臼用デバイス開発のための側頭骨鱗部の計測**
 Measurement of a squamous part of the temporal bone for development of new device for
 temporomandibular joint luxation
 木村 俊介¹, 大野 紀和², 小木 信美¹, 栗田 賢一¹
 (¹愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座, ²愛知学院大学歯学部口腔解剖学
 講座)
- P-27 変形性顎関節症における咬合接触状態の評価**
 Evaluation of the occlusal contact in degenerative temporomandibular disorder
 内田 貴之¹, 小見山 道², 岡本 康裕¹, 飯田 崇², 若見 昌信³,
 久保寺 翔¹
 (¹日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座, ²日本大学松戸歯学部顎口腔機
 能治療学講座, ³日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-28 健常者における唾液アミラーゼの日内・日間の変動様相**
 The diurnal and day to day variations using salivary amylase in healthy subjects
 宇野 光乗¹, 野々垣龍吾¹, 松井 孝介¹, 横山 貴紀¹, 岡 俊男¹,
 石神 元¹, 東山 秀敏², 田邊俊一郎³, 倉知 正和⁴
 (¹朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野, ²東山歯科, ³朝日
 大学歯学部口腔病態医療学講座インプラント学分野, ⁴朝日大学歯学部歯
 科医学教育推進センター)
- P-29 MRI T2 map による顎関節部組織の定量評価：簡易 T2 map の精度**
 Quantitative evaluation of temporomandibular joint region using MRI T2 map ; accuracy of
 plain T2 map
 重野健一郎¹, 佐々木秀憲², 音成 (山本) 実佳², 右田 雅士¹,
 恩田 健志¹, 西川 慶一², 大畠 仁¹, 和光 衛², 柴原 孝彦¹
 (¹東京歯科大学口腔外科学講座, ²東京歯科大学歯科放射線学講座)

- P-30** fMRI による顎関節症の疼痛症状に対する脳賦活部位の解析
 Functional MRI analysis for localization of cerebral activity in relation to pain symptoms in patients with temporomandibular disorders
 末永 重明¹, 永山 邦宏², 犬童 寛子¹, 宮脇 正一², 馬嶋 秀行¹
 (¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学分野, ²鹿児島大学大学院医歯学総合研究科発生発達教育学講座歯科矯正学分野)
- P-31** 無線 LAN を有する小型装置による生体现象の記録分析システムの開発
 Development of bio-phenomena recording and analyzing system using a small device with wireless LAN
 横山 正起, 志賀 博, 渡邊 篤士, 石川 忠, 難波 錬久
 (日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第1講座)
- P-32** 噛みしめ時の前頭前野の活動にスプリントの違いが及ぼす影響
 Effects of difference in occlusal splint on prefrontal area activity during clenching
 佐久間重光¹, 安藤 清文¹, 足立 充¹, 服部 豪之¹, 上栗 有二¹,
 土屋 淳弘¹, 竹中 誠¹, 橋本 和佳¹, 小木 信美², 栗田 賢一²,
 伊藤 裕¹
 (¹愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座, ²愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座)
- P-33** 低強度レベルの噛みしめ時における筋活動および脳活動の検討
 Analysis of brain and muscle activity during low-level tooth biting
 飯田 崇, 小見山 道, 小原 綾子, 薦田 祥博, 増田 学, 川良美佐雄
 (日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座)
- P-34** 有歯顎者の咬合採得における術者の指示が咬合接触記録に及ぼす影響
 Influence of different narrative instructions to record the occlusal contact with silicone registration materials
 増田 学, 小見山 道, 小原 綾子, 飯田 崇, 薦田 祥博, 川良美佐雄
 (日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座)
- P-35** 片側臼歯部欠損患者における偏咀嚼の検討
 The assessment of mastication predominance for patients with missing teeth in the unilateral posterior region
 山崎 陽, 桑鶴 利香, 築山 能大, 松本 浩志, 古谷野 潔
 (九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野)
- P-36** 睡眠時ブラキシズムに対するスタビライゼーション型スプリントの効果
 The effect of stabilisation splint devices on sleep bruxism
 小野口 康, 築山 能大, 桑鶴 利香, 松本 浩志, 古谷野 潔
 (九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野)

- P-37 簡易貼付型睡眠時ブラキシズム測定装置の測定精度の検討**
 A validation study of a miniature all-in-one device for detection of nocturnal bruxism frequency
 三木 春奈¹, 水口 一¹, 上枝 麻友², 重本 修伺^{2,3}, 鈴木 善貴²,
 前川 賢治¹, 松香 芳三², 窪木 拓男¹
 (1岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野, 2徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顎機能咬合再建学分野, 3鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-38 咀嚼筋痛障害患者の終日咬筋の筋活動分析**
 Analysis of the whole day masseter muscle activity of patients with myalgia of masticatory muscle
 高嶋真樹子¹, 河村 篤志¹, 白井 友恵², 荒井 良明¹, 高木 律男^{1,2}
 (1新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部, 2新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学)
- P-39 連続 24 時間咬筋筋電図記録による TCH 検査法の検討**
 Study on examination of tooth contacting habit with continuous 24-hours EMG recording of masseter muscle activity
 大本 勝弘¹, 重本 修伺^{1,2}, 松香 芳三¹
 (1徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顎機能咬合再建学分野, 2鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-40 日中覚醒時と夜間睡眠時における咬筋筋活動の発現頻度は関連するか？**
 Is there any association between burst number of masseter muscle activities during daytime and nocturnal sleep?
 三上 紗季¹, 山口 泰彦², 渡辺 一彦¹, 岡田 和樹¹, 後藤田章人¹,
 菱川 龍樹³, 斎藤 未来¹
 (1北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門, 2北海道大学大学院歯学研究科冠橋義歯補綴学教室, 3北海道大学病院歯科放射線科)
- P-41 日中・夜間の Bruxism とインプラント上部構造破損の関係**
 Relation between bruxism and damage of implant supported superstructures
 田邊 憲昌¹, 金村 清孝¹, 浅野 明子², 近藤 尚知¹
 (1岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座, 2岩手医科大学歯学部歯科保存学講座う蝕治療学分野)
- P-42 音声センサ併用の終日 EMG は顎関節症治療を変える一下顎異常機能の特徴が示された 1 症例—**
 All day EMG with speech sensor changes the strategy of TMD treatment — A case with disclosed property of mandibular parafunction—
 熊崎 洋平, 川上 滋央, Mude Acing Habibie, 加藤 聖也,
 潘 秋月, 沖 和広, 皆木 省吾
 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野)

- P-43 **TCH 是正治療として新しい認知行動療法の有効性の検討（単盲検無作為化比較対照試験）**
 Effect of newly developed cognitive and behavioral therapy for tooth contacting habit (Single blind, randomized controlled trials)
 小野 康寛¹, 船登 雅彦², 渡邊 友希², 馬場 一美¹
 (1昭和大学歯学部歯科補綴学講座, 2昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座顎関節症治療学部門)
- P-44 **顎関節症に対する運動療法の臨床効果に関する検討 第1報：復位性関節円板障害に対する短期的効果**
 Consideration about clinical effects of functional therapy for most common temporomandibular disorders. First report : short term effects to temporomandibular joint disc derangement with reduction
 遠渡 将輝¹, 佐久間重光², 小菅 哲¹, 坂口 晃平^{1,3}, 山口 賀大^{1,3},
 小林 里奈¹, 森 仁美¹, 安藤 清文², 伊藤 裕², 田口 望^{1,2,3}
 (1医療法人田口歯科医院, 2愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座, 3名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座顎顔面外科学)
- P-45 **下顎頭の前方滑走運動を誘導する開口訓練器の新規開発**
 Development of the new type mouth opening exercise device
 儀武 啓幸, 原田 清
 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野)
- P-46 **新型開口度測定器の開発**
 Development of the new type instrument for measurement of mouth opening
 儀武 啓幸, 原田 清
 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野)
- P-47 **顎関節症患者における開口抵抗力測定を試み 第一報 至適開口速度探索**
 A research to measure numerically the degree of jaw stiffness in TMDs patients
 First report : Exploring optimum opening speed to be applied
 和嶋 浩一
 (慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室)
- P-48 **頸部筋ストレッチが開口量に与える影響**
 Influence of neck muscle stretching on the maximum opening of jaw
 井上真梨子¹, 佐藤 仁², 西須 大徳¹, 白田 頌³, 村岡 渡⁴,
 蒔生田整治¹, 河奈 裕正¹, 中川 種昭¹, 和嶋 浩一¹
 (1慶應義塾大学病院歯科・口腔外科, 2川崎市立川崎病院歯科・口腔外科, 3多摩北部医療センター歯科・口腔外科, 4川崎市立井田病院歯科・口腔外科)

- P-49 頭頸部の筋組織における深部侵害刺激の相互作用**
 Intramuscular pH modulates glutamate-evoked masseter muscle pain intensity in humans
 佐藤 仁^{1,2,6}, 長縄 拓哉^{3,6}, 村岡 渡^{2,4}, 西須 大徳², 白田 頌^{2,5},
 安居 孝純¹, 苜生田 整治², 河奈 裕正², 鬼澤 勝弘¹, 中川 種昭²,
 和嶋 浩一², Peter Svensson⁶
 (¹川崎市立川崎病院口腔外科・歯科, ²慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室, ³東京女子医科大学歯科口腔外科, ⁴川崎市立井田病院歯科口腔外科, ⁵多摩北部医療センター歯科・口腔外科, ⁶Section of Clinical Oral Physiology, School of Dentistry, Aarhus University)
- P-50 顎顔面及び口腔領域の感覚検査のための新しい口腔内感覚検査器の評価**
 Assessment of human intraoral mechanical and thermal sensitivity with a simple device :
 Implication and applicability for orofacial pain conditions
 長縄 拓哉¹, 飯田 崇², 佐藤 仁³, 山口 陽平¹, 奥山 淳史¹,
 佐々木 亮¹, 深田 健治¹, 岡本 俊宏¹
 (¹東京女子医科大学歯科口腔外科, ²日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座, ³川崎市立川崎病院歯科口腔外科)
- P-51 口下顎ジストニアにおけるボトックスの効果**
 Effects of botulinum toxin type a in oromandibular dystonia
 成田 紀之¹, 下坂 典立¹, 小見山 道², 神谷 和伸¹, 金田 隆³,
 近藤 壽郎⁴
 (¹日本大学松戸歯学部附属病院顎脳機能センター神経歯科, ²日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学, ³日本大学松戸歯学部放射線学, ⁴日本大学松戸歯学部顎顔面外科学)

▶ 症例報告・臨床研究

- P-52 症例報告：咬合接触のない開閉口運動を用いた下顎位の診査**
 Examination of mandibular position using habitual opening-closing movements without occlusal contact
 平林 里大, 平井健太郎, 井川 知子, 安藤栄里子, 平井 真也,
 重田 優子, 小川 匠
 (鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座)
- P-53 DC/TMD により筋・筋膜疼痛が非歯原性歯痛, 頭痛と顎関節症咀嚼筋痛障害の共通病態であることが診断出来た 1 例**
 A case report : Myofascial pain diagnosed by DC/TMD as a common pathology of non-odontogenic toothache, headache and TMD masticatory muscle pain disorder
 渡邊 友希¹, 滝戸 えみ², 阿部 有吾¹, 小野 康寛², 馬場 一美²,
 船登 雅彦¹
 (¹昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座顎関節症治療部門, ²昭和大学歯学部歯科補綴学講座)

- P-54 閉口末期の閉口障害を伴う顎関節症 8 例の臨床的検討**
 Clinical examination of eight cases of mouth closing disturbance caused by the disk of temporomandibular joint
 後藤 基宏¹, 伊達岡 聖², 森 悠衣¹, 窪 寛仁¹, 岩崎 春美¹,
 福田あおい³, 井関 富雄³, 森田 章介³, 覚道 健治¹
 (¹大阪歯科大学口腔外科学第二講座, ²大阪歯科大学附属病院障がい者歯科, ³大阪歯科大学口腔外科学第一講座)
- P-55 顎関節症と鑑別が困難であった咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例**
 A case of masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia difficult to differentiate from temporomandibular disorders
 濱田 真智, 岩崎 春美, 窪 寛仁, 藤井 智子, 大西 祐一,
 覚道 健治
 (大阪歯科大学口腔外科学第二講座)
- P-56 顎関節円板後部組織の肥厚による咬合偏位の 1 例**
 A case of malocclusion because of edema in retrodiscal tissue of temporomandibular joint
 大井 一浩, 由良 晋也
 (市立砺波総合病院歯科口腔外科)
- P-57 経過観察中に著明な骨のリモデリングを認めた変形性顎関節症の症例**
 A case of osteoarthritis observed remarkable remodeling of the bone during a course of treatment
 小澤 重幸, 佐藤真理子, 本間 義郎, 久保田英朗
 (神奈川歯科大学顎顔面外科学講座)
- P-58 関節円板の骨化が疑われた変形性顎関節症の一例**
 A case of degenerative temporomandibular disorder that the ossification of the articular disc was suspected
 中山 英典^{1,2}, 福田 幸太^{1,2}, 近藤 倫弘^{1,2}, 前多 雅仁^{1,2},
 渡邊 裕之^{1,2}, 後藤 満雄^{1,2}, 小木 信美^{1,2}, 栗田 賢一^{1,2},
 中山 美和^{2,3}, 杉田 好彦⁴
 (¹愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座, ²愛知学院大学歯学部付属病院顎関節外来, ³愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座, ⁴愛知学院大学歯学部口腔病理学講座)
- P-59 重度のブラキシズムによる著しい咬耗を有する患者に筋突起切除術を施行し咬合再建を行った 1 症例**
 A case of occlusal reconstruction after coronoidectomy in a patient with teeth attrition associated with severe bruxism
 原 弓加里¹, 前田 照太², 土居 聖¹, 覚道 健治³, 有家 巧⁴,
 岡崎 定司¹
 (¹大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座, ²大阪歯科大学臨床研修教育科, ³大阪歯科大学口腔外科学第二講座, ⁴独立行政法人国立病院機構大阪医療センター口腔外科)

- P-60 顎関節部に生じた放線菌症の一例**
 A case of actinomycosis of the temporomandibular joint
 中村 智穂, 吉田 遼司, 中山 秀樹, 内藤 久貴, 町田 李菜,
 吉武 義泰, 平木 昭光, 篠原 正徳
 (熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学分野)
- P-61 ミュンヒハウゼン症候群を疑った顎関節開放剥離授動術術後感染の1例**
 A case of postoperative infection of lysis and lavage of temporomandibular joint that was suspected Muenchhausen syndrome
 渡辺 昌広, 赤峯 勇哲, 藤井 智子, 後藤 基宏, 大西 祐一,
 覚道 健治
 (大阪歯科大学口腔外科学第二講座)
- P-62 片側性筋突起過形成症に対する筋突起切除術時の全身麻酔導入で開口量の著しい減少をきたした1例**
 Severe disturbance of mouth opening occurring during induction of general anesthesia for coronoidectomy for unilateral hyperplasia of the mandibular coronoid process : a case report
 松本 章子¹, 清水 英孝¹, 松本 憲¹, 榊井 敦史¹, 内山 百夏²,
 柿本 直也², 森本 佳成³, 由良 義明¹
 (¹大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第二教室, ²大阪大学大学院歯学研究科歯科放射線学教室, ³九州大学病院特殊歯科総合治療部全身管理歯科)
- P-63 下顎枝が吸収し側頭骨, 脳硬膜まで病変が波及した SAPHO 症候群の1例**
 SAPHO syndrome with resorption of ramus of mandible and a lesion extending to temporal bone and the dura mater
 佐藤 修一¹, 高橋 哲¹, 熊本 裕行², 森 優³
 (¹東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野, ²東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野, ³東北大学大学院医学研究科整形外科学分野)
- P-64 観血的処置を行った両側陳旧性顎関節脱臼の2例**
 Two cases of bilateral chronic dislocation of the temporomandibular joint treated by surgical treatment
 藤井 誠子¹, 國領 真也², 金氏 毅², 土生 学¹, 岩永賢二郎¹,
 富永 和宏¹, 吉岡 泉²
 (¹九州歯科大学学生体機能学講座顎顔面外科学分野, ²九州歯科大学学生体機能学講座口腔内科学分野)
- P-65 変形性顎関節症に続発した両側顎関節強直症に対し Piezosurgery を用いて顎関節授動術を行った一例**
 A case of bilateral temporomandibular joint ankylosis following osteoarthritis treated by gap arthroplasty using piezosurgery
 樋口 景介, 千葉 雅俊, 野上晋之介, 高橋 哲
 (東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座顎顔面・口腔外科学分野)

- P-66 両側顎関節症を疑われたバーキットリンパ腫の1例
Burkitt lymphoma was suspected bilateral temporomandibular arthrosis : a case report
波田野典子, 森 良之, 井之前貴雄, 安部 貴大, 高戸 毅
(東京大学医学部附属病院顎口腔外科・歯科矯正歯科)
- P-67 左側関節突起部に発生した骨軟骨腫の1例
Osteochondroma of the left temporomandibular joint : A case report
辻 要¹, 安田 典泰¹, 山田 耕治¹, 林 洋希¹, 蒲生 祥子²,
和唐 雅博³, 吉田 博昭¹, 井関 富雄¹, 森田 章介¹
(¹大阪歯科大学口腔外科学第一講座, ²大阪歯科大学歯科放射線学講座,
³大阪歯科大学口腔病理学講座)
- P-68 顎関節滑膜軟骨腫症の早期診断における MR 画像の有用性
Effectiveness of MR imaging measurement for early diagnosis of synovial chondromatosis
in temporomandibular joint
森 悠衣¹, 後藤 基宏², 窪 寛仁², 岩崎 春美², 覚道 健治²,
秋山 広徳³, 四井 資隆³, 清水谷公成³
(¹住友病院歯科, ²大阪歯科大学口腔外科学第二講座, ³大阪歯科大学歯科
放射線学講座)
- P-69 顎関節症を疑う MRI 検査にて, STIR 水平断像を追加撮像することの有用性
Value of additional axial images in MR imaging for temporomandibular joint disorders to di-
agnose temporomandibular joint problems from other etiology
佐々木悠介¹, 金田 隆¹, 南 学², 岡田 裕之³, ブーフカレン⁴,
酒井 修⁴
(¹日本大学松戸歯学部放射線学講座, ²筑波大学医学医療系放射線学講
座, ³日本大学松戸歯学部解剖学II, ⁴ボストン大学医学部放射線学講座)

▶ International session (国際セッション)

- P-70 Effectiveness of temporomandibular joint disease follow up using bone scans
Ku Jeong-Kui
(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Section of Dentistry, Seoul
National University Bundang Hospital)
- P-71 TMD treatment and orthognathic surgery in patients with idiopathic condylar resorption :
Case studies
Ku Jeong-Kui
(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Section of Dentistry, Seoul
National University Bundang Hospital)

- P-72 Evaluation of Korean teenagers with temporomandibular joint disorders**
Ahn Kyo-jin¹, Kim Young-kyun¹, Bae Ji-hyun²
(¹Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Section of Dentistry, Seoul National University Bundang Hospital, ²Department of Conservative Dentistry, Section of Dentistry, Seoul National University Bundang Hospital)
- P-73 Clinical evaluation of patients with TMD receiving by joint injection, arthroscopy or open joint surgery using TMD/RDC**
Ahn Kyo-jin¹, Kim Young-kyun¹, Bae Ji-hyun²
(¹Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Section of Dentistry, Seoul National University Bundang Hospital, ²Department of Conservative Dentistry, Section of Dentistry, Seoul National University Bundang Hospital)
- P-74 Total TMJ replacement in diverse clinical conditions : 6 cases with 18 months follow-up**
Kim Hong-Joon, Kim Duck-Hoon, Lee Bu-Kyu
(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Asan Medical Center, College of Medicine, Ulsan University)
- P-75 A rare case of solitary osteochondroma at the temporomandibular joint : Case report**
Kim Hong-Joon, Park Tae-Jun, Lee Bu-Kyu
(Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Asan Medical Center, College of Medicine, Ulsan University)
- P-76 Autologous platelet rich plasma enhances the extracellular matrix of articular cartilage and counteracts the interleukin-1 β -induced cartilage destruction**
Kim Su-Gwan^{1,2}, Kim Jae-Sung¹, Cho In-A¹, You Jae-Seek^{1,2}, Oh Ji-Su^{1,2}
(¹Oral Biology Research Institute, Chosun University, ²Department of Oral and Maxillofacial Surgery, School of Dentistry, Chosun University)